

ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 62

NAOHARU TODA

OGAKI CHAMBER OF COMMERCE
KURUWAMACHI OGAKI GIFUKEN JAPAN



NO.7

昭和31年11月15日 (November, 15, 1956)

第62区ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー
第62区ガバナー 戸田直温

○ 地区大会を顧みて

第62区として最も重要且意義ある 横浜地区大会も終了した。823名の参加者があり円滑に其プログラムも進められて盛会裡に終わった事は偏にホストクラブたる横浜クラブの諸君の並々な御配慮と御努力に依るもので大に謝意を表する次第であります。タウンミーティングに於いても部門別協議会に於ても諸君の活潑熱心なる意見の発表討議にはテイラー氏も大に感銘せられて他国の大会に比して共熱心さに於て大に優り探究心の大なるを賞讃せられて居つた。併し前夜懇談会に新クラブで出席せられなかつた所があり、又部門別協議会にも比較的出席が少なかつたのは甚だ遺憾であつた、会長幹事は豫め之れに関し周到なる配意をして部門別協議会の出席者を定めて置かれる様せられたい。大会に始めて出席して其価値ありしを覚りロータリアンは地区大会に出席してこのロータリーの精神を真に会得し得るものなりと述べて居つた会員もあつたが実に其通りである。会員は今后振つて地区大会に出席せらるゝ様切望して已みません。又会員の大会参加の申込が期日に遅れて大会間際に申込んだり又取消したりするクラブが往々あつてホストクラブでは

其準備計劃に非常に手違ひを来たしたの事でありませぬ。期日約束を違へる事などはロータリーの精神に反し真のロータリアンではありません、之れこの外形丈けのロータリアンであります。定められた事は定められた通りに行う様に励行せられたく折角のテイラー氏の期待にも背かない様に切望致します。

○ 四つのテスト (Four Way Test)

テイラー氏は四つのテストが日本で他の国に於てよりも一層広く実用的に応用されて居るのを親しく見られて非常に悦んで居られました。尙四つのテストはロータリアンのみならず一般人も公生活に於ても亦私生活に於ても座右の銘として遵守すべきものでありますから吾々ロータリアンとしては一般に之れを押し括める様に努むべきであります。只之れに就いてテイラー氏より注意がありました、必ず「国際ロータリー版權所有」と附記してロータリークラブの発行とせられたいとの事でありました、間違なく励行を願います。

○ お互にもつと知り合う

(Learn More about Each Other)

ロータリーの理想の一は親睦友好であります。之れはお互にもつと知り合う事であります。地区大会チャーターナイト、インターシチーフホーム等各種のロータリーの集会への出席はお互に知り合う最も良き機会です。今度の前夜懇談会で提案のあつた随処でのロータリアン同志の呼び掛け運動も亦然り、地区大会に始めて参加した会員が之れ程の未知の会員と親しみ合う機会は外に無く、実に親睦を増すものであるとしてロータリアンの有り難さを感じたと申して居りました。実に其感激、大会に出て始めて知るのであります。之れを押し括めて凡ゆる機会に他のロータリアン他国のロータリアンとも知り合う事に努められたい、之れが亦平和の素因ともなるものです。

○ ロータリー資金週間 (Rotary Foundation Week)

今月11日から17日迄はロータリー資金週間で各クラブでは此週間に於て定めし種々意義ある企劃をせられた事と存じます。此資金への醸出、1弗は國際奉仕の一助、教育方面への寄興として最も有意義且尊ぶべき行いであります。此の週間が過ぎても凡ゆる機会にロータリー資金への協力を忘れず努められん事を切望致します。刈谷クラブでは全会員年1弗宛今后此資金に醸出を決議せられて居ります。大に感謝に堪えません。

○ ロータリーは何を為したか (What has Rotary done?)

ロータリーは単なる社交クラブではなく、奉仕を理想とする団結であります。テイラー氏の地区大会でのメッセージでも吾々に此目的の遂行を説きラング会長の三つの目標の貫徹を強調せられて居ります。米国279区のガバナーバツソン (Jim Batson) は興味ある質問を其地区内のクラブの会員に出されました。即ち

1. 私の言行よりして町の人々はロータリーに対してどう思つて居るか。
2. 私は果してロータリーに何を貢献したか。
3. ロータリーは私に対して何をして呉れたか。
4. ロータリーは私の町に何をしたか。

会長幹事は之等の質問を玩味して貴クラブのロータリー活動に資せられたいと存じます。

○ 1958の國際ロータリー大会 Convention (1958 Gen-ueutists)

1957の國際ロータリー大会は瑞西のルセルンで11月19～23日の5日間開かれるが1958の國際大会は米国テキサス州のダラス (Dallas) で6月1-5日の5日間開かれる事に決定しました。

○ 入会金及び年会費 (Admission Fee and Annual Dues)

米国及びカナダに在るクラブでは少くとも20弗の入会金及25弗の年会費を徴集しないクラブは理事会として之の加盟を認めない。他の国々に於ては、地区ガバナーが米国及びカナダの新クラブに対して理事会が決定した金額とそれぞれ同等の購買力のある金額を新クラブの入会金及び年会費とすべきである、とR.I.理事会は議決して居るが之れは各クラブがロータリーとして其機能を完全に遂行し又平衡を得たプログラムを完全に実行し得る為の最小限度の資金として其社会の大小の如何に拘らず國際ロータリーの一員として認める条件としたものでありますから日本に於ても最低額たる入会金20弗 年会費25弗に適應した額即ち入会金7200円 年会費9000円 (例会費を含まず) を最低として、それぞれ決定する様R.I. 本部より更めて注意がありました。

○ 出席成績に就いて (Attendance Record)

クラブ例会への出席は各クラブに於て種々なる方法によつて之れを奨励せられて居るを公式訪問の際親しく伺つて甚だ各クラブ出席奨励委員の努力を大に多とするものであります。併し未だ7月以来の平均が70%代のクラブのあるのは甚だ遺憾に堪えません。之れが為め地区全体の平均も低下して出席優良クラブの折角の努力も其価値を低減する事になります。昨年度に於ては吾62区は他の地区に優つて居つたのであります。是非之等のクラブの奮起を願います。出席はロータリアンの理想であり其

精神であります。

○ 米山奨学資金 (Yoneyama Fund)

米山奨学資金に就いては 今度の横浜地区大会で決議があり其決議は前号の大会特別号に報告して置きましたが今迄の有志丈の懸念に依つて居つたものを ロータリークラブ会員が全員之れに参加して全国的の企てとし以て基礎を一層強固にして亜細亜地域よりの 吾国への留学生を増加して東亜の国際親善に寄与せんとする事に 決議しましたから各クラブの各会員諸君今後は毎月 50円を此資金に出捐、幹事の方で纏める様願います。

○ 横浜地区参加会員の特別寄附金

今回の地区大会が横浜市で開催され、横浜市も之れに対し協賛大に支援せられしに対し、横浜市に対し感謝の意を表し且つ之れを記念する為、横浜市長に金壱封を贈る事に大会で決議しました。依つて各クラブに於ては参加会員一人に付き 500円也を 集めて横浜クラブ幹事野村光正氏に御送金を願います。

○ 会場監督の任務 (Duty of S.A.A.)

会場監督は (S.A.A.) 其地方の習慣等に依り 多少異つたやり方もして居るが之れだけは守らねばならぬ、即ち会合を秩序正しく、実績のある様に取り運び決して重みのない様な集りにしてはならぬ。又ヴァイジター或はゲストには悪い感じを懐かせない様に気をくばられたい。ラング会長の「ロータリーは常に世間から重く見られる同志の集りで安つまい感じを与えてロータリーの品格を落してはならぬ」との言を常に銘記して会場監督は其任務を果して頂きたい。(R.I. Newsより)

○ 一日地区講習会

(One Day District Institute)

1日地区講習会(ワンデイ ギズツリクト インステテュート)を昭和32年1月12日名古屋で開く事に決定しました。此の講習会は主としてロータリー情報と職業分類に関する講習であつてバスターガバナー小松隆氏は 近くシンガポールで開かれる。之れに関する会議(亜細亜地域)

に日本からのカウンセラーとして出席、本年度の指導を受けられて帰朝の上吾々の此講習会で出席会員を指導せられる事になつて居ります。会長、ロータリー情報委員長と職業分類委員長は必ず出席する義務があります。此兩委員会の仕事を遂行する上に於て 最も有効なる講習会ですが近く之れに関する 説明書を会長宛御送附致します 豫めよく読んで頂きたい、尙詳しい事は講習会のプログラム決定次第御通知申し上げます。

○ 公式訪問の感想

(Impression in official Visits)

十月は横浜で 第62区大会が開かれ又ラング会長の代理としてテイラー氏御夫妻が来朝せられた ことなどからして各クラブを公式訪問する暇もなく只大会後半田と刈谷の二クラブだけしか御訪ねる事が出来なかつたのは 甚だ遺憾でした、半田クラブは孤児院の孫児を会員の家族が里親となつて一日南知多の周遊に伴はれた。孤児も里親の慈愛を感じて非常にいぢらしかつたとの 感想を洩されて居つた。頼り込なき孤児達に斯る催を時々催されて愛の手を指し延べて頂きたい。其他会員全部揃つて養老院の慰問や学校への四つのテストの周知普及方に努め、又プログラム委員は例会のプログラムを来年 6月迄を興味あり種類に富んだもので已に作成せられて居り感心しました。

刈谷クラブは各会員がクラブ活動に 非常に熱心で刈谷附の道路が甚しく悪いので全員挙つて 道路改善運動を起し 着々其目的を達しつつあるとの事時宜に適した活動である国際親善関係として名古屋に在る東南亜細亜の学生を会員の家庭に招待せられたが今後も 時々招待する計画との事、東南亜細亜との親善の為に大にやつて頂きたい。其他四つのテストの学校への寄贈、行つた事業の継続又は後の整備もよくやつて居られた。色々な活動や仕事をせられても後の注意や 補修が欠ける事があり勝ちである。施設などされた場合には必ず 後の手当てを継続は肝要で刈谷は之れを怠らずやつて居られる、これでこの真の仕事であると言ひ得る。

○ ロータリー財團奨学資金寄附
(Rotary Foundation Fund)

現在までにお払込みの御通知を受けましたのは、下記各クラブです。いつも乍ら御協力深謝いたします。

クラブ名	據金額	新(旧)会員 ① \$ 10	旧(新)会員 ② \$ 1.
尾西	93,600	26名	—名
甲府	14,400	—	40
松本	115,200	32	—
美濃	79,200	22	—
大垣	10,800	3	—
多治見	126,000	35	—
横須賀	14,400	—	40
合計	453,600	118	80

第62区 1956年 10月分 出席率表

今月 順位	クラブ名	例会数	今月末 会員数	対期初 増減	出席率 出の 算上 の 会員数	出席率
1	横須賀	4	40	+4	40	100.00
2	高岡	4	34	=	34	100.00
3	伊東	5	27	=	27	100.00
4	熱海	4	26	+2	26	100.00
5	伊勢	5	32	+2	32	99.37
6	多治見	5	31	+6	31	99.36
7	沼津	4	46	+1	46	98.92
8	川崎	4	56	+4	56	98.13
9	名古屋西	5	51	+4	51	98.03
10	豊橋	4	49	+2	48	97.38
11	刈谷	5	30	+3	30	97.26
12	岡崎	5	35	=	35	97.14
13	藤沢	5	25	+1	25	96.80
14	清水	5	39	+1	39	96.41
15	尾西	5	26	+6	26	96.15
16	四日市	4	52	=	52	95.18
17	桑名	5	36	=	36	95.00
18	蒲郡	4	25	=	25	95.00
19	浜松	5	49	+9	49	94.67
20	一宮	4	35	=	35	94.29
21	津島	4	28	+2	28	93.75
22	横浜東	4	31	-1	31	93.55
23	上野	5	34	=	34	93.53

24	美濃	4	22	+1	22	93.18
25	名古屋	5	116	+4	114	93.15
25	甲府	5	40	+1	40	93.00
27	吉原	4	32	-1	32	92.97
----- 平均出席率 -----						92.61
28	小田原	5	32	+1	32	92.50
29	岐阜	4	50	+1	49	92.35
30	金沢	5	72	=	72	91.94
31	半田	4	31	+1	31	91.90
32	松阪	5	38	-1	38	91.05
33	大垣	5	38	+2	38	90.57
34	富山	5	49	+2	49	90.48
35	静岡	5	51	+3	51	89.88
36	横浜	5	100	+5	97	89.87
37	松本	5	32	=	32	87.50
38	七尾	5	23	+4	23	85.09
39	津	4	35	=	35	82.56
40	礪波	5	26	-1	26	82.18
41	魚津	4	22	-1	22	81.82
42	小松	4	35	=	35	79.43
43	飯田	5	29	+4	29	76.89
44	高山	4	28	-1	28	76.79
合計			1,738	+70	1,731	92.61

【訂正】 第5信に於ける9月分出席率の内、小田原R.C.を87.9%第38位と発表いたしました。これは94.4%、第23位の誤りでしたから訂正いたします。従つて第5信に発表の第23位の(吉原R.C)以下のクラブは一つづつ順位が繰下がることとなりますが、悪しからず御諒恕下さい。

註 出席率報告書の記入と計算について

既に御承知のこと、存じますが、本年度から出席率報告の様式が一部改正されましたので、下記事項を間違いなく御承知置き下さい。

【様式】 従来の会員数、出席会員数、パーセンテージ欄の他に出席率算出上の会員数 (No of Members used in Computing Attendance) とゆう欄が新に設けられ、本部所定用紙 (英文) の表紙裏及び左下空欄に注解の通り、定款第四条、第七項、C, D. (定款及び細則参照

のこと) によつて出席率計算から免除され得るシニヤ又はパスト会員の長期欠席者(病欠等理事会が至当と認めたもの)がある場合に限り、現会員数から当該出席免除会員数を差引いた数字で出席会員数を除しパーセンテージを算出してもよいとゆうものですが、定款第四條、第七項、c.d.に適合しない限り、仮令欠席を認められていても(例へば細則第九條等により)それは只、会員資格喪失の対照とならないだけで之を出席率計算に適用することは出来ません。即ち出席率が良くなるからというので勝手に普通会员の長期欠席者を只「理事会が認めたから」という理由で、之を会員数から差引いて出席率を算出することはできませんから此の点特に御注意下さい。

【記入】次にその記入方法を例を挙げて説明いたします。茲に53名の会員を擁する一クラブがあると仮定致します。そのクラブの或る例会日の出席会員数が48名であつた場合、報告書には次のように記入されます。

即ち

①

例会日	会員数	出席率算出上の会員数	出席会員数	出席率(%)
	53	53	48	90.57

となる訳で、普通これで御報告願うわけです。

ところで、このクラブには定款第4条、第7項c.dの規定により、当然出席率計算から免除することの出来る会員が2名あつたと仮定いたします。そしてこの場合の報告は次のように記入されねばなりません。

②

例会日	会員数	出席率算出上の会員数	出席会員数	出席率(%)
	53	51	48	94.12

即ち、現会員数53から定款の定めるところにより、出席規定から免除された2名を除く51を出席率算出上の会員数として記入するわけです(但しこの場合でも会員数の欄には依然、全会員数の53を記入することになっておりますから此点特に御注意下さい)。然し、大抵

の場合、余程古いクラブ若くは大都市のクラブでない限り、このような特別に出席規定から免除される会員を持つクラブは殆んどない筈ですから、その場合には表①の如く「会員数」及び「出席率算出上の会員数」欄には同数字を記入して頂ければ良いわけです。

【計算】各例会日毎の出席率及び月平均出席率は次のように算出して下さい。

1. 各週の出席率は従来の通り出席会員数を会員数で割つて頂ければ結構ですが、その場合、

a) 出席規定から免除される会員がなければ表①によ

$$\frac{48 \text{ (出席会員数)}}{53 \text{ (出席率算出上の会員数)}} = 90.57\% \text{ となり}$$

b) 出席規定から免除される会員がある場合は表②により $48 \text{ (出席会員数)} \div 51 \text{ (出席率算出上の会員数)} = 94.12\%$ となります

2. 次に月平均の出席率は、従来は出席会員数の合計を会員数の合計で割つて出して頂きましたが、今年度は新様式に慣い、各週出席率の合計をその月の例会数で割つて算出願います。即ち

$$\frac{\text{各例会毎の出席率の合計}}{\text{その月の例会数}} = \text{その月の平均出席率}$$

となる訳です。新様式の R.I. 本部所定用紙には、出席率の欄以外には合計欄が設けられてありませんから当然上記の方法で計算しなければならぬことになります。この意味に於いても出来るだけ所定の用紙で御報告頂けるよう希みます。

3. 上記何れの場合もパーセンテージは必ず小数点以下第3位まで計算し、第3位目を4捨5入して、小数点以下第2位までを御報告願います。

【報告】必ず10日必着で遅くとも8日乃至9日中にお送り下さるようお願いいたします。新様式ではカードが2枚宛ありますが、1枚は報告後変更された場合に使用するものですから、1枚丈ガバナー事務所宛お送り願えれば結構です。(本部へ直送の必要はありません)。

【発表】毎月15日付発行の「ガバナーズレター」に発表いたします。

ロータリー会誌寄贈